



# 第一礼拝次第

説教：ジェーン・パン牧師

司会：倉成桃子執事

<巻頭言>

三浦綾子読書会特別講演

「ちいろば先生物語」に学ぶ  
牧師 渡真利彦文

前奏			会衆
頌栄	540		会衆
主の祈り			会衆
ブレイズ	「輝け主の栄光」 「その日全世界が」		会衆
聖書朗読	フィリピ2：13-15		司会
祈禱	(新約聖書 p363)		司会
特別賛美	中高生		会衆
賛美	新生14		会衆
説教	「星のように輝く」		牧師
祈禱			会衆
賛美	新生309		会衆
献金			司会
報告			司会
頌栄	新生672b		会衆
祝禱			牧師

一昨日(17日)午前、教会では長谷川与志充先生の三浦綾子読書会が開催された。今回は「ちいろば先生物語」の中からの学びであった。「ちいろば先生物語」は三浦氏の第50番目の作品で、「週刊朝日」に掲載された作品である。自身のことを「ちいろば先生」と称した榎本保郎牧師の生涯を小説にした。

「イエス様のご用であれば、いつでもどこへでもイエス様をお乗せしていく」と作者は語る。<イエスはふたりの弟子をつかわして言われた。「向こうの村に行きなさい。そこに入るとすぐ、まだだれも乗ったことのないちいろばの子が、つないであるのを見るであろう。それを解いて引いてきなさい。もし、だれかがあなたに、なぜそんなことをするのかと言ったなら、主がお入り用なのです・・・と言いなさい」マルコ11：1-3> 「ちいろば」とは、このちいろばのことなのだ。榎本保郎牧師は、自分もこの「ちいろば」でありたいと思った。自分自身は、イエス様に乗っていただく力も資格もない小さなちいろばである。だが、イエス様のご用であれば、いつでもどこへでもイエス様をお乗せして役立たせていただきたい。そうしたキリストへの謙遜と信頼を、榎本牧師は「ちいろば」なる題名に込めたのだ。

この世でまだ用いられていない、何かをしたことがなくても何の問題もない、イエス様は用いてくださる。



# 第二礼拝次第 (19:00)

説教：渡真利彦文牧師

聖書：マタイ9：35-38 (新約聖書 p17)

メッセージ：「収穫の主に願いなさい」

ブレイズ：「きよい手を上げ」

「感謝の心」

讚美：新生447 新生437



# ファミリー礼拝 (9:00)

説教：渡真利彦文牧師

司会・奏楽：中高生

聖書：ダニエル7章15-28節

メッセージ：「悩みつつ心に留める」